

令和4年度第3回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和4年11月22日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

まず、ワクチン接種につきましては、9月28日からオミクロン株対応ワクチンの接種を、11月17日からは生後6カ月から4歳までの乳幼児を対象としたワクチンの接種を開始しております。

今年の冬は、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されておりますので、ワクチンの早期接種についてご検討をよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症は、備北保健所管内においても、感染者は増加傾向に転じており、11月17日の日本医師会の定例会見におきましても、「第8波となる新たな波が始まったと捉えざるを得ない」との認識が示されております。

市民の皆様には、引き続き、手洗い、換気、消毒、不織布マスクの適切な着用など、基本的な感染予防対策の継続をお願いいたします。

次に、今季初の国内発生となる高病原性鳥インフルエンザが、10月28日、倉敷市において発生し、その後続発している状況であります。

本市におきましても、いつ発生してもおかしくない状況であるため、市内の各養鶏場へ防疫用消石灰を11月1日に配布したところであります。

す。また、職員に対する家畜防疫対策研修も実施し、万全の体制をとってまいります。

それでは、本日の記者会見での発表事項について説明させていただきます。

長引くコロナ禍による原油価格や物価高騰の影響により、事業活動や生活に大きな影響を受けている方々の負担軽減を図るため、新たな支援金等を支給するなど、市民生活や地域経済への支援を強力に行ってまいります。

はじめに「に一みんポイント付与事業」についてであります。

10月24日から利用を開始しております新見市オリジナルI C O C Aには、市内の加盟店でご利用いただける、に一みんポイントをあらかじめ5,000ポイント付与しております。

12月1日には第2弾といたしまして、物価高騰に伴う生活支援として追加で3,000ポイントを付与いたします。

そして第3弾といたしまして、長引く物価高騰の影響を受けている市民の皆様へ、さらなる支援として追加で3,000ポイントの付与を予定しております。付与時期等につきましては、準備が整い次第お知らせしてまいります。

新見市オリジナルI C O C Aを活用し、市民の皆様の生活を支援するとともに市内経済を循環させ、地域の活性化を図ってまいります。

次に、市内農家の皆様を支援するため、「園芸肥料農薬高騰対策支援事業」と「グリーン農業推進事業」に取り組んでまいります。

まず「園芸肥料農薬高騰対策支援事業」といたしまして、園芸作物の肥料価格高騰などに伴い、生産コストが上昇しているため、ぶどう・ト

マト・もも・花き・大根を対象品目に園芸農家に対して肥料農薬購入費の一部を支援してまいります。

次に「グリーン農業推進事業」についてであります。

現在、国では環境にやさしい栽培体系への転換を掲げ、化学肥料から有機肥料などへの転換を推進するとともに肥料価格高騰対策を行っております。本市といたしましても、化学肥料からの転換を後押しし、農家の経営安定化を図るため、市独自で国の制度に上乘せして支援してまいります。グリーン農業を推進するとともに、農家の離農を防ぎ、持続可能な農業の実現を目指してまいります。

次に、「医療機関等エネルギー価格高騰緊急支援事業」についてであります。

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けている医療機関や障がい福祉・介護サービス事業所に対して価格高騰分の一部を支援してまいります。

まず、「医療機関等」では、病院、診療所、歯科診療所、健康増進施設を対象施設として支援いたします。施設ごとの基本額と種別に応じた加算額を合わせて支給いたします。

次に、「障がい福祉サービス事業所」では、障害者支援施設の入所系事業所、生活介護や短期入所事業所等の通所系事業所、居宅介護事業所等の訪問系その他の事業所と、福祉有償運送事業所を対象として支援いたします。こちらは基本額と事業所の種別ごとの定員に応じた加算額を合わせて支給してまいります。

次に、「介護サービス事業所」では、特別養護老人ホームやグループホーム等の入所系事業所、またデイサービス等の通所系事業所、ホーム

ヘルパー等の訪問系その他の事業所を対象として支援いたします。こちらから障がい福祉サービス事業所への支援と同様に、基本額と事業所の種別ごとの定員に応じた加算額を合わせて支給してまいります。

これらの支援策により、医療機関等の負担軽減を図り事業継続を支援してまいります。

次に「新見市役所本庁舎附属棟整備事業」についてであります。

本年7月から進めてまいりました、本庁舎西棟周辺の電気配線、消火設備の調査がこのたび完了いたしました。老朽化している西棟を解体し、新たに防災拠点となる附属棟を建設するため、西棟解体工事と附属棟の実施設計に着手し、令和6年度中の完成を目指してまいります。

附属棟は、災害対策本部会議室や備蓄倉庫、また自衛隊や岡山県・市町村等から派遣される職員を受け入れる会議室等を備えた施設となります。これにより、近年、頻発・激甚化している集中豪雨などの災害に対する防災機能の強化を図るとともに、様々な自然災害や緊急事態に対して、迅速かつ効果的に対応できる体制づくりに努めてまいります。

12月議会定例会へ提出する令和4年度一般会計補正予算につきましては、先ほど説明をいたしました、に一みんポイント付与事業をはじめとする物価高騰対策関係として1億3,690万円、新見市役所本庁舎附属棟整備事業として6,680万円など、合計で7億4,637万4千円を計上しております。

私からは以上でございます。